

令和5年度 第2回 八千代市公共施設再編検討・検証委員会
会議録

日時 令和6年3月15日(金) 午後3時00分から午後3時55分まで

場所 八千代市役所 別館2階 第2会議室(事務局及び一部委員)
八千代市役所 旧館4階 第1委員会室(傍聴席)

開催方法 リモート開催(ZOOM)

議題 八千代市公共施設等個別施設計画における各種取組内容【令和6年度版】
(案)について

出席者 **【委員】** 西尾 委員 (有識者 2号委員)
齋藤 委員 (有識者 2号委員)
石橋 委員 (市民 1号委員)
佐藤 委員 (市民 1号委員)

【事務局】 渡邊 課長 (資産管理課)
西中 副主幹 (資産管理課)
糸賀 主任主事 (資産管理課)

公開又は非公開の別 公開

傍聴人 0名

定刻、会議が開会し、配布資料の確認があった。

なお、柳澤委員長が欠席のため、本委員会設置要領第4条第3項の規定により、西尾副委員長が委員長の職務を代理することとする。

——議題 八千代市公共施設等個別施設計画における各種取組内容【令和6年度版】(案)について——

【西尾委員長代理】

それでは委員長が欠席ということですので、代理で進めさせていただきたいと思います、よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は4名となります。

本委員会設置要領第5条第2項の規定により委員の半数以上の出席に達しておりますので、ただいまから令和5年度第2回八千代市公共施設再編検討・検証委員会を開催いたします。

議題は「八千代市公共施設等個別施設計画における各種取組内容【令和6年度版】(案)について」となっていますので、事務局から説明をお願いします。

【事務局（糸賀主任主事）】

事務局の糸賀です、よろしくお願いいたします。昨年の8月に開催しました第1回目の委員会において、令和4年度版における本各種取組内容の実施状況に対し、評価・助言をいただいたところですが、今回は来年度に向けた本各種取組内容の令和6年度版(案)についてご説明いたします。

なお、取組内容は、現在案の状態となっていますが、今月中の決定後、4月にホームページ等にて公表予定となります。

それでは、別紙1「令和6年度版(案)」の1ページをご覧ください。なお、ここからは画面共有にて進めさせていただきます。

2の計画期間につきまして、詳細は後程ご説明いたしますが、現在令和6年度末の改訂に向けて個別施設計画の見直しを行っており、それに沿って今回お示ししている令和7年度以降の年度別計画につきましては、見直しを図る予定となっております。

次に2ページをご覧ください、左側から取組No.、新規項目、施設名、部署名、区分、取組内容、年度別計画と記載しております。

次に3ページをご覧ください、令和5年度版と比較して新たに追加した項目については、左から二番目の「新規項目」の欄に黒丸を記入しており、今回の新規項目は2つで、No18及びNo19の学童保育所の整備工事となっております。

続いて、ここからは参考資料1に沿ってご説明いたします。

参考資料1では、各種取り組みの内容及び令和5年度版と比較して主な変更点とその理

由を記載しており、以下変更が伴った項目について説明させていただきます。

また、約1年前の本委員会にて、次年度の計画を検討する際は本年度の計画の実績を整理した上で行うことが望ましい旨のご指摘を頂戴しておりますので、今年度の各項目の実績については、一部は予定も含んでおりますがこちらにて記載しております。

なお、現行計画である令和5年度版については必要に応じて参考資料2をご参照ください。

始めに参考資料1のN○2をご覧ください、こちらは高津中学校に関する取組みとなります。

取組内容にて「長寿命化改修工事（校舎・体育館）」と記載しておりますが、こちらは令和5年度に実施設計、令和6年度に工事と位置付けていたところ、令和6年度に実施設計及びプール解体工事となり、1年改修工事の遅れとなっております。

理由としては、今年度行った実施設計にて学校活動への影響を精査した結果、グラウンドに想定していた仮設校舎を老朽化で使用していないプールがある場所に変更し、実施設計を1年延長したためとなります。

続いてN○3及びN○4をご覧ください、こちらは村上小学校及び大和田南小学校に関する取組みとなります。

取組内容にて「長寿命化改修工事（校舎・体育館）」と記載しておりますが、こちらは令和5年度に工事内容決定、令和6年度に実施設計と位置付けていたところ、令和6年度に工事内容決定となり、1年決定の遅れとなっております。

理由としては、改修工事における内容の協議・検討を学校職員と行いましたが協議・検討内容が多岐に渡り内容決定には至らなかったためとなります。

続いてN○14をご覧ください、こちらはみどりが丘小学校の分離新設校に関する取組みとなります。

令和5年度版の取組内容にて「新設小学校の整備」と記載しておりますが、今年度にて整備手法の決定が行われたため、新たに令和6年度版では取組内容を「新設小学校の整備工事」としており、それに伴い令和6年度及び令和7年度にて工事を位置付けております。

なお、建設予定地としては、新木戸小学校に程近い旧遊戯施設の跡地となっており、整備の手法は、設計と施工を同一事業者に一括発注する「デザインビルド方式」を採用しております。

採用理由としては、令和8年4月までの開校を目指している中で、それまでに整備が可能であり、かつ敷地面積が限られている中で、民間事業者のノウハウを効果的に活用して施設を整備する必要があること、また他の方式よりも費用が抑えられることが見込まれるためとなります。

最後に参考として、完成予想図としてはこちらのとおりとなっており、地上3階建ての屋上では軽運動や学習として活用できる小学校となっております。

続いてN o 1 5をご覧ください、こちらは旧八千代台東第二小学校跡地広場、愛称やちよ台東二マイル広場に関する取組みとなります。

取組内容にて「跡地施設整備工事（二次整備）」と記載しておりますが、こちらは今年度にて、広場の管理・運営を行っている「一般社団法人にあとびあ」と二次整備について協議・検討を行ったところ、来年度以降も運営状況を踏まえつつ、引き続き協議・検討を行うこととなっております。

なお、二次整備の範囲としては、こちらのイメージ図のとおり右下のドッグラン及び左上の貸し農園以外のエリアを想定しております。

続いてN o 1 6をご覧ください、こちらは旧少年自然の家に関する取組みとなります。

取組内容にて「解体工事」と記載しておりますが、こちらは今年度における協議・検討を踏まえ、新たに解体に向けて令和6年度に設計、令和7年度に工事を位置付けています。

続いてN o 1 8及び1 9をご覧ください、こちらは初めにご説明したとおり、新規での取組みとなります。

みどりが丘小学校及び八千代台小学校ともに児童数の増加や学童入居希望者の増加に伴い、それぞれ現状の学童保育所では対応が困難になることが想定されるため、新たに学童保育所を設置する内容となっております。

続いてN o 2 1をご覧ください、こちらはふれあいプラザに関する取組みとなります。

令和5年度版の取組内容にて「老朽化対応等について方針を決定する」と記載しておりますが、今年度実施しておりますPFI等導入可能性等調査等を踏まえた改修工事に向けて、新たに令和6年度版の取組内容を「老朽化対応等改修工事」と変更し、それに伴い令和6年度及び令和7年度にて基本設計・実施設計を位置付けております。

続いてN o 2 2をご覧ください、こちらは旧高津支所及び旧高津第二学童保育所に関する取組みとなります。

取組内容にて「解体工事」と記載しておりますが、こちらは令和5年度に「工事」と位置付けていたところ、令和6年度も「工事」となり1年繰り越しております。

理由としては、今年度におけるUR都市機構実施の高津団地の外壁補修工事に伴い、解体工事を行う前に近隣の影響を事前確認する「家屋等事前調査」の期間を延長したことからその後の工事の開始もずれ込んだためとなります。

続いてN o 2 3をご覧ください、こちらはまつわ団地に関する取組みとなります。

取組内容にて「市営住宅の廃止」と記載しておりますが、若干名の入居者に対して、移転における協議は行ったところですが、移転完了には至らなかったため、遅れが発生し令和6年度も「移転・廃止」となっております。

続いてN o 2 5をご覧ください、こちら第二村上団地に関する取組みとなります。

取組内容にて「市営住宅の廃止」と記載しておりますが、令和5年度にて位置付けている「移転・廃止」に対して、移転は完了しましたが廃止に至らなかったため遅れが発生し令和6年度に「廃止」となっており、廃止を行う際には条例改正の手続きが必要のため、令和6年

度の議会にて取扱う予定となっております。

最後にN o 27をご覧ください、こちら衛生センターに関する取組みとなります。

令和5年度版の取組内容にて「老朽化対応等について方針を決定する」と記載しておりますが、今年度にて「八千代市廃棄物減量等推進審議会」及びパブリックコメントにおけるご意見を踏まえた「八千代市し尿及び浄化槽汚泥処理に関する方針」を決定する予定であり、その方針に沿った新衛生センターの整備に向けて、新たに令和6年度版の取組内容を「新施設整備工事」と変更し、それに伴い令和6年度にて計画の改訂を位置付けております。

なお、現衛生センターにつきましては、一般家庭等から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を処理する施設で、築40年以上経過しており、現処理方法としては施設内の脱窒素槽等にて段階的に処理しているのに対し、新施設における処理方法では、脱水及び希釈した上で流域関連公共下水道へ放流することを想定しております。

以上が八千代市公共施設等個別施設計画における各種取組内容【令和6年度版】(案)の説明になります。

【西尾委員長代理】

ご説明ありがとうございました。本日の議題はこちらの一つとあとは報告ということになりますので、この議題について委員の皆さんからご意見を頂きながらできるだけ時間を使って話し合いを行っていきたいと思っております。

それでは、委員の皆さんからご意見やご質問など細かなことでも結構ですので、お願いしたいと思います。

計画自体の改訂については後程事務局よりご説明があるかと思いますが、現段階で来年度にどのような取組みをしていくかということについてご説明があったと思います。来年度の取組みを考えるにあたり、今年度の実績を踏まえた上で来年度の取組みについて検討できるような資料の組み立てになっていたかと思います。今年度の取組みを踏まえて、来年度の見直しの内容はこれでいいのかどうか、そういったことも含めてご意見頂ければと思います。

【石橋委員】

N o 3とN o 4にて、村上小学校と大和田南小学校の取組みが遅れており、学校職員との話し合いが長くなったというところで決定に至らなかったということでしたが、安心・安全に使用することを前提とした計画的な改修を行うといった取組内容に対して、どのようにしたら安心・安全な学校になるといった合意については至っているのでしょうか。

個人的に村上小学校を卒業したということもあるのですが。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます、なぜそもそも決定に至らなかったという内容、またそれが今後

どのように決定に向かっていく見込みがあるのかといったところも併せてご説明をお願いします。

【事務局（渡邊課長）】

まず長寿命化改修につきまして簡単にご説明させていただきますと、建物の躯体の目標使用年数を80年間として現在設定しております。その間、建物や設備の老朽化がございますので、20年刻みで中規模等の改修をするところとなっています。

その真ん中のところの40年目にて、長寿命化改修として大規模な改修を実施するところがございます。

こちらについては、全ての設備、外部の開口部、内部の仕上げ、及び配線や配管などを含めまして全面的な改修を行うということになっております。

八千代市では、初めての長寿命化改修の取組みとなっており、今までトイレの洋式化などについて、夏休み期間を有効に活用して工事を実施してきたところがございますけれども、この大規模な改修になりますと夏休み期間には収まらず、工事の工期が2年程度かかるというところで、仮設の校舎を用意して部分的に移動しながら工事を進めていくというような形になってまいります。そうしますとグラウンドなどが狭くなってしまうため体育の授業等に影響が出ます。

また、特に中学校になってきますと部活もございますので、さらに対応を図らなければいけない。2年間の工事ということになりますと、その点の調整が想定以上に生じてきたというところがございます。学校側におけるカリキュラムの調整といったものが当初の計画策定時に思い描いていたものよりも多岐にわたるということで、時間を要しているというところがございます。

安全・安心というところで、老朽化改修を早く進めていきたいところがございますけれども、そちらの調整も併せまして実施していきたいと考えております。

【石橋委員】

ありがとうございます。仮設の校舎などを建てる際に、カリキュラムの変更が生じることの調整ができてない点について、カリキュラムを変更すること自体は、施設側は合意しているという認識でしょうか。

それとも、極端ですがカリキュラムを遅らせることはできないため、校舎を改修しなくてもいいといったことではなくて、遅らせることには合意しているがそれに時間がかかっているということでしょうか。

【事務局（渡邊課長）】

引越しの時期などの調整を含め、カリキュラムへの影響を最小限に抑えてというところで、当然授業のコマ数などについては縮減できませんので、学校側も改修が必要だという

認識はございますけれども、具体的な調整については時間がかかっているというところがございます。

【石橋委員】

合意を取ることでなく、具体的な調整に時間がかかっているため遅れているということで。分かりました、ありがとうございます。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます。今までやってきていなかったことに新しく取り組んでいることで慣れていないところもあると思うのですけれども、この協議や調整が遅ればその分工事の着手も遅れていくということになると思いますので、やはり影響は大きいかなという気はします。

最初のケースなのでそこは丁寧にやっていく必要があると思いますが、ほかの学校にもそれぞれ遅れが波及していくと全体的な影響が大きくなってくると思いますので、できるだけ最初の事例で協議のポイントをきちんと整理をしておいて、第2弾や第3弾の時には、速やかに予定どおり1年で調整できる、そのように繋げていくというような観点を持っていただくと良いと思いました。

【齋藤委員】

全体的な計画については特に質問は無いのですが、私の業務が設計ということで気になったのがNo14のみどりが丘小学校の分離新設校について、事業手法の決定からいきなり工事という形ですが、デザインビルドの関係で設計と工事を一緒にやるから、工事といった書き方になっているということでもいいのかなという確認です。

【事務局（渡邊課長）】

ご指摘のとおりで、工事と設計を併せてお願いすることになりますので、表記の仕方については改めて検討させていただければと思います。

【齋藤委員】

はい、ありがとうございます。それともう1点なのですが、みどりが丘小学校の分離新設校の位置ですが、すぐ隣に新木戸小学校がある敷地の設定になっていてみどりが丘小学校の位置とかも把握しているのですが、これやはりみどりが丘小学校の分離新設校として、ここというのが最適なのか、ここしかなかったのかという気がします。

私なら新木戸小学校の学区を広げて、新木戸小学校の分校として体育館などの施設は、新木戸小学校と共有してみどりが丘小学校は少し学区が狭くなるという形にした方が。

先ほどイメージパースみたいなものが出ており、あそこだと体育館とかあるのかどうか

ぱっと見ては分からなかったのですが、そういった体育館などをもし造るのであれば、費用的な面で新木戸小学校の分離校とした方が共有で体育館などを使用できるのかなと思っただけですが、その辺は検討されたのでしょうか。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます。なかなか土地はどこが空いているのといった制約はあるかと思うのですが、今のお話で、施設の位置などを考えると、もっと別の検討の可能性もあったのではないかというご意見ですが、事務局いかがでしょうか。

【事務局(糸賀主任主事)】

体育館につきましては、新たに造る予定となっております。

なお、全体の大きさ的については都内の敷地面積が狭い小学校をモデルとしており、そこまで広くないと聞いております。

【事務局(渡邊課長)】

具体的には、教育委員会の方で学区や配置について検討がなされてきたところでございますけれども、やはり場所的にはここがベストかと言われると副委員長のご指摘のとおり他に適地がなかったのかどうかというようなところもあろうかと思えます。

新木戸小学校の現在の規模などを含めまして体育館の共用ができるのかできないのか、そういったところも含めての決定だというふうに理解しております。

【齋藤委員】

はい、ありがとうございます。

【西尾委員長代理】

佐藤委員はいかがでしょう。

【佐藤委員】

小学校や中学校などを80年間使うというところで、安全・安心に使用するために長寿命化改修を開始するということがありますが、見た目における壁などを綺麗にすることは含まれているのでしょうか。それともやはり目に見えない内部のことだけなのでしょうか。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます、長寿命化の改修工事の中で外壁や内装なども対象であるのかというご質問ですがいかがでしょうか。

【事務局（西中副主幹）】

事務局の西中です、よろしくお願いします。建物を長く保存して、安全・安心に使っていただくために、全面的な改修を行わないと適正に維持管理ができないため、外壁や屋上の防水改修などにつきましても全面的に改修するような方向で計画を作成しているところです。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます。多分20年とか30年に1回ぐらいの大規模な改修工事をやる時にはそういった外壁や天井などといったところも工事をして、結果かなり見た目も変わってくると思うのですが、そのような工事を予定されているということかと思います。他にはいかがでしょうか。

【石橋委員】

No18とNo19について、これは子供が増えて学童保育所を増やすということだと思うのですが、学童保育所の建物を増やすにあたって人員も増えるのでしょうか。関わりがあることなのか分からないのですが、気になりました。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます。これは建物の計画なので建物のことが記載されていますが、当然建物だけで済む話ではなくて、人員などその他色々なことを含めての対応ということになろうと思うのですが、そこまで考慮されているのかというご質問かと思います。事務局いかがでしょうか。

【事務局（渡邊課長）】

学童保育所につきましては外部の委託ということで運営しているのですが、そちらについては当然学童の数に応じた指導員などの人数の基準がございますので、併せて調整はされているところです。

【石橋委員】

はい、ありがとうございます。

【西尾委員長代理】

これは現状ではまだ人口が増えている、あるいは子供が増えているということで、増加している子どもの需要に対応して新しく造っていくということだと思うのですが、もう少し長い将来のことを考えるといずれ人口も減っていき子どもも減っていく状況も考えられるかなと思います。そういった中長期的な将来の見込みについてはこの施設計画の

中で考慮されているのでしょうか。

【事務局（渡邊課長）】

学童保育につきましては、基本的には学校の余裕教室を転用する形で進めているところで、教室に余裕がなくそれが叶わない場合には、敷地内に建設をするというところで対応を図っているところです。

現在待機児童というのが問題になっておりまして、基本的には需要に沿った供給を行っているところです。あとは建物のグレードなどでの調整になってこようかと思えます。

【西尾委員長代理】

分かりました。最近の事例だと将来需要の減少が見込まれるということであれば、将来転用するという含めてデザインなどに反映させるといった効率的な施設の発想があると思えますので、場合によってはその点を検討していただくと将来において効率的な施設の活用に繋がるかなと思いました。

【佐藤委員】

新木戸小学校やみどりが丘小学校の児童数が一杯になってきているということですが、素朴な疑問で中学校は大丈夫なのでしょうか。みどりが丘地区を歩いている際に道が中学生で一杯になっているところを目にしており、中学校はどうなっているのかと思いました。

【事務局（渡邊課長）】

児童生徒数の将来の推計を行っておりまして、その中でもみどりが丘地区にて小学校の方が早めに教室が足りなくなる状況が見込まれておりましたので、先行して小学校の検討・整備を進めております。

その後中学校の方も生徒数が多くなってまいりますので、現在教育委員会を中心に検討を進めているところでございます。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます。今示していただいている資料が令和8年度までの向こう3年間の計画になっていますので、今の事務局説明にて、まず先行して子どもの数が増えている小学校を中心とした対応となっており、これがもう少し先の計画期間が出てくると中学校における対応も出てくるかと思えます。

また後ほど個別施設計画の改訂についてご説明があると思えますので、中学校についてはそういったところもチェックしていただくとよいかと思いました。

私のほうから全体的なことをお聞きしたいと思うのですが、ご説明の中で幾つかやはり

遅れが生じている、また新規で追加したのがあるというお話が結構あったかなと思っておりまして、それ自体は状況にあわせて変化させてきたのだと思うのですが、それをトータルで見たときに計画全体として事業費がちょっと膨らみすぎており、将来の計画を全体的に見直す必要が出てきているなど、そういった全体としての影響はないのかどうか確認しておきたいと思ったのですが、いかがでしょうか。

【事務局（渡邊課長）】

人口推計をもとに計画の策定をしており、将来人口が減少になるというのは他の自治体と同様に見込んでいるのですが、現在八千代市においては人口が増加中ということで、最新の人口推計になりますと、以前見込んでいたピークよりも八千代市の人口減少が後ろ倒しになる見通しがございます。先ほど佐藤委員からありましたが、みどりが丘地区であるとか、東葉高速鉄道沿線の中でも人口が増加しており、全体で見ると減少しているところもあるのですが、今後そういったところで市の施設の再編というのを検討していく必要がある状況でございます。

また工事費ですが、昨今の物価高、それから人件費においても上昇しております。それに伴いまして工事費のコストが上昇するところがございます、こちらも将来の工事に要する費用が上昇傾向になることを危惧しております。

詳細については後での説明になりますが、八千代市ではゼロカーボンシティ宣言を行っておりまして、施設としてもこういった対応が今後必要になってきます。基本的にはコストの増加になるような状況が先を見通すと出てくるところでございます、そこら辺を次の計画改定時には見込んでいく必要がございます。

【西尾委員長代理】

ありがとうございます。やはり人口が増加している以上は、その需要には対応する必要があると思いますので、その部分については新たに造るものは造らないといけないというのは当然そうだろうなと思います。とはいえ、全体として非常に財政状況は厳しくなっている中で、施設の再編をやっていかないとけないという状況は変わりません。その中で、事業費が元々と比較して上がっている、また新たな環境対応で追加のコストが必要になっている。

そういうことも踏まえると、財政状況を悪化させない中で計画全体として本当にやっていけるのかといった検証が重要になってくるかと思えます。この年度単位での個別の実績の検証と次年度ではどうしていくかといった見直しの時にも、全体としてその事業費がどうなのか。個別の事業が計画どおり進んでいるかといったチェックはもちろん大事ですが、それが市全体の事業費として見たときに当初想定した事業費の範囲で収まっているのか、翌年度もこの今の想定している内容で収まるかどうか、といったチェックも必要だと思いました。

意見として、そういったことも踏まえていただけると良いかなと思いました。それでは委員の皆さんで追加のご意見がありましたらお願いしたいと思います。

(追加の意見なし)

よろしいですか。では最初の議題については、委員からのご意見を踏まえて、事務局のほうでさらに検討を進めていただければと思います。

それでは次第に沿って次の事項の報告、八千代市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改定について、事務局より説明をお願いしたいと思います。

【事務局（西中副主幹）】

事務局の西中です、よろしくお願いします。

八千代市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改訂につきまして、ご説明させていただきます。

令和3年3月末に八千代市公共施設等個別施設計画の策定に併せて、八千代市公共施設等総合管理計画について現況に係る数値等の一部改訂を行ったところで、上位計画である八千代市第5次総合計画の期間に合わせて4年の見直しとしており、令和7年3月の計画期間満了に向けて、現在計画の改訂作業に着手しております。

来年度の当検討・検証委員会の係わりとスケジュールになりますが、係わりとしては、計画の改訂作業の途中報告や意見交換などを考えており、年3回の実施を予定しております。

1回目は7月頃に開催する予定で、主に今年度実施している劣化度判定結果の報告を考えており、2回目は11月頃に令和7年度版の取組内容に直結する内容として中長期保全計画の案等について意見交換を考えており、3回目は2月末頃に公共施設等総合管理計画案及び公共施設等個別施設計画案についての質疑をする場として考えております

それでは参考資料3をご覧ください。改訂までの流れといたしましては、今年度中に公共施設の状況を把握するため各施設の劣化診断調査を実施し、ハード面として個別施設の情報更新を行うとともに、現計画の振り返りや計画時から現在までの変化を人口、財政及び地域の状況を分類して把握し、問題点や課題の確認を行っているところであります。

来年度における今後の対応方針としては、施設の利用実態の情報更新、維持・更新コストの見直し、総合管理計画及び個別施設計画の案についてパブリックコメントを行った後に令和7年3月の計画改訂を目指して進めているところでございます。

改訂による主な見直しの内容としては、今後の対応方針として「1.市庁舎整備とその他の施設の整備の進め方等整備方針の見直し」や「3.地域別方針の具体化と再編モデルの設定」などを考えており、今年度完了予定の各施設の劣化状況調査や近年の利用実態などの情報更新を踏まえた今後の維持・更新コスト及び類型別方針の見直しであり、管理に関する基本方針としては、脱炭素化などの項目の追加を想定しております。

また、現計画策定時に整備計画が決まっていなかったため見込んでいなかった新庁舎及びみどりが丘小学校の分離新設校などについても見込んだ上で、今後の全体的なコスト試算を検討する必要があると考えておりますので、これらのポイントを踏まえながら改訂を進めてまいります。説明は以上となります。

【西尾委員長代理】

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について、何か確認しておくことあればお願いしたいと思います、委員の皆様いかがでしょうか。

(特になし)

令和3年3月に策定及び改定した計画を来年度中に見直しする内容で、この委員会では任期が変わって新しいメンバーということになるかと思いますが、委員会としては来年度3回が予定されていて、その中で、その都度見直しの状況について報告を受けて、こちらから意見を申し上げていくといった関係になっていると思います。

先ほどご説明の中で、人口が増えているエリアとそうでないエリアとで差が出てきていると思いますので、そういったところを踏まえて、ある程度計画の見直しということも必要になってくるかなと感じました。その辺は来年度も議論のポイントの一つになるかと思っています。他はよろしいでしょうか。

では、2番目の報告についてはこれで終了となり、本日の内容は全て終了しました。委員の皆様におかれましてはご協力及び貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。事務局は本日提示された意見を踏まえて、今後の施策について検討していただきたいと思います。それでは、事務局に戻したいと思います。

【事務局（渡邊課長）】

本日は来年度の各種取組内容案につきましてご議論を頂くとともに、令和6年度末以降見据えた計画の改定につきまして、ご報告をさせていただきました。これらを踏まえ、未来を見据えた最適な公共サービスに向けまして、庁内連携をさらに深めつつ、事務局といったしましてもさらに検討を進めてまいりたいというふうに考えております。

冒頭にも申し上げましたとおり、現委員の皆様は令和6年6月14日までとなっておりますが、次回開催は本年7月頃を予定しておりますので、今回をもちまして現委員さんの皆様による委員会は最後ということになります。

本日はこちらにいらっしゃいませんが柳澤委員長をはじめ、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中約2年に渡り、本市における公共施設の再編などに関しまして貴重なご意見、ご提言などを頂き、誠にありがとうございました。

本日頂きましたご意見を踏まえて、本委員会の今後の運営に取り組んでまいりたい

と考えておりますので、これからもご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、お礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

【西尾委員長代理】

それでは以上をもちまして、令和5年度第2回八千代市公共施設再編検討検証委員会を閉会したいと思います。皆様ありがとうございました。

最後に事務局より事務連絡がありますので、よろしくお願いいたします。

【事務局（糸賀主任主事）】

本日は皆様、貴重なご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。

今後の予定については、事務局で今回の議事録を作成後、委員の皆様へ送付させていただき、皆様のご確認の後に概ね本日から1か月以内に議事録を市のホームページにて公表させていただきますのでよろしくお願いしたいと思います。

最後に今回の謝金ですが、前回の昨年8月に実施したときと違う振込先の口座を希望される場合は、ご連絡をお願いしたいと思います。

それでは本日はご参加いただき、ありがとうございました。